

# 建中寺と本丸御殿二期公開 ～徳川家康と宗春の生きざま～

2016年7月23日実施 JGA 第二支部研修レポート

2016年7月23日（土）に第二支部で名古屋市の建中寺、名古屋城本丸御殿の研修を実施致しました。名古屋近郊を中心に、さらに関西、関東からもご参加いただき、会長や副会長を含む計15名（会員13名、非会員2名、委員3名含む）が集いました。

研修前に希望者で建中寺から徒歩10分のところにある織田家ゆかりの徳源寺を訪問しました。ちょうど大相撲名古屋場所の開催期間にあたり、九重部屋の宿舎である徳源寺で朝稽古が見学できました。

その後、午前の研修会場、尾張徳川家の菩提寺である建中寺に移動しました。東海学園大学人文学部の安田文吉特任教授のご講演を1時間にわたり拝聴しました。名古屋ガイドの定番、名古屋城を語る上では外せない尾張徳川家について、家康や義直、吉宗と宗春の不仲説の真相や名古屋と京都の町づくりの共通点などもお話いただきました。建中寺では盂蘭盆会が開催されており、講演に続いては浅井大美子氏の琴演奏、田中ふみえ氏の語り「徳川宗春花絵巻」を本堂で鑑賞しました。午前の部終了後希望者は徒歩15分で宝善亭に移動し事前に予約しておいた旬小箱を堪能しました。宝善亭が位置する徳川園は、かつて尾張徳川家の御屋敷があった場所に造られた庭園で、徳川美術館とあわせてこちらの食事場所も実際の業務でよく利用されている場所です。



午後は、なごや観光ルートバス「メーグル」を利用して名古屋城に移動し、名古屋城総合事務所の学芸員、近藤将人氏を講師に迎えて、本年6月1日から新公開された本丸御殿内の対面所、下御膳所を見学しました。公開されたばかりの絢爛豪華な御殿は、遥か400年前に家康や義直が見た光景とまさに同じであり貴重なものであると解説いただき、普段は配布されていない貴重な資料も特別に頂戴しました。当初は1時間の予定でしたが、参加者からの矢継ぎ早の質問にも丁寧にお答えいただき、予定時間を超えてご案内いただきました。研修後は、第三期工事の現場を見学して解散となりました。

ご多用中にもかかわらず、第二支部研修にご出席いただき、また遠方よりご足労下さった皆様、ありがとうございました。

